

2017年 2月10日

瀬戸市議会議員

戸田 由久 様

道泉連区学校を守る会

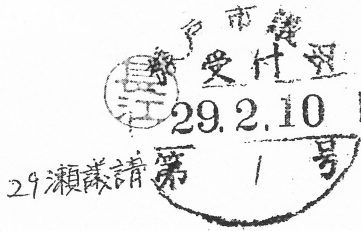
伊藤 秋光

瀬戸市進陶町147-4

紹介議員

原 田 孝

浅井 寿美



瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを求める請願書

請願主旨

瀬戸市が現在進めている小中学校7校を1校とする計画は、十分な検討もないまま強引に行われていす。今回の計画で小中学校が統廃合されることに対して、私たちは2つの重大な懸念を抱いています。

ひとつは今回の計画が道泉連区の子どもたちと地域にもたらす負の影響です。まず通学距離・時間が非常に長くなることで、子どもたちの健康や外遊びや学習にも影響します。また、長年地域と学校が協力してつうてきた子どもたちのための環境、取り組み、行事がなくなり、学校を中心とした地域の絆が弱まることです。道泉小学校と本山中学校は地勢的にも瀬戸市の中心部にあり、さらに瀬戸市の観光資源が点在し、歴史文化の趣を色濃く残すこの地域においてはこのまま計画が実行されればこの地域から子どもたちは姿を当し、学校近隣を理由にした人口流入は見込めなくなり、瀬戸市中心部の空洞化にますます拍車がかかることは間違いありません。

もう一つの懸念は、市が地域住民の疑問や願いに十分に応えることなく、住民の理解や納得が得られなくとも一方的に計画を進めていることです。これまで瀬戸市全体の小中学校の在り方を検討することもなく、昨年3月末に突然計画が発表され、6月の地域説明会から1年に満たない余りに短い期間で、住民合意のないまま進めていく瀬戸市の姿勢に不信感を抱かざるを得ません。

「道泉連区学校を守る会」は以上のような理由から、瀬戸市に対して現計画の見直しを求めるとともに、瀬戸市全体の繁栄を望んでいます。

私たちはこの地域の子どもたちの学びと暮らし、街づくりの両面から、以下の事項について要請します。

請願項目

- 一、子どもたちのためにモデル地区の変更など、瀬戸市小中一貫校施設整備計画の見直しを行うこと。
- 二、地域住民の理解と納得が得られないまま、瀬戸市小中一貫校施設整備計画を進めないこと。